

大阪青雲会の皆様

こんな瞬間、ありませんか？

「こんな林道、あの人とタラタラ話しながら下ったなあ」

「久住の例会、以前行ったなあ、あの人 坊がつる讃歌好きだったなあ」

「ここでゼンザイ食べた、あの人に駅から重いのが持たされたけど」

「トランプ好きだったなあ、罰ゲーム いつも本気だったなあ あの人の人」

昨年10月15日 あの人が突然逝ってしまって、もうすぐ半年を迎えようとしています。

人生の3分の2を青雲会の会長として過ごしたあの人の人

毎週の例会、100人を超える会員数の維持、毎月の集会、夏季を主とするアルプス例会、現在の形態が確立されるにあたり、多数の役員・会員の努力の賜物であります。その中心の会長としてこの人は不可欠であったと思います。

諸般の事情により、お見舞いにも行けず、お別れも許されず、いまなお、お礼の心も伝えられず、やるせない気持ちの方も多くいらっしゃると思います。

今秋の一周忌を目途に「佐藤前会長追悼誌」を作成いたします。

内容は前会長の写真・ラストメッセージ、年譜、会誌への投稿、等々です。

そして、皆さんの「佐藤前会長との思い出」がメインの内容となります。

つきましては、次のとおり、皆さんの投稿を募集します。

「佐藤元会長と私」「〇〇例会の思い出」「」等々皆さんの気持ちを表して下さい。

形 式 問いません。出来れば、ワード・テキストファイルで。

投 稿 先 **※配付資料を参照して下さい。**

内容・タイトル 佐藤前会長に関する内容であればなんでも結構です。

文 字 数 問いません（基本的に）

締め切り 5月下旬

メールもパソコンも苦手な方、田名部宛お送りください。手書きで結構です。

「追悼誌」投稿をきっかけに、山行を振り返り、青雲会での一区切りとして、短い文章、一行でも結構です。みなさんの気持ち、投稿をお待ちしております。